

## 第1回 音川小学校のあり方協議会 議事概要

開催日：令和5年12月13日（水）

開催時間：19時～20時10分

開催場所：音川地区センター

出席者：中山会長、若松副会長、小塚副会長、平野委員、山崎委員、清水委員、  
納村委員、田中委員、鉢呂委員、若松（紀）委員、舟瀬委員、若松（広）委員、  
山本委員、谷委員、頼成委員

事務局：教育委員会事務局理事 古西 達也  
学校再編推進課長 山口 雅之  
学校再編推進課主幹 高岡 太郎  
学校再編推進課計画係主査 春田 圭介  
学校再編推進課計画係主事 福島 久美子

### 《開会》

【司会】 第1回音川小学校のあり方協議会を開催する。  
本日、都合により2名が欠席している。  
(古西 教育委員会事務局理事 挨拶)

### 《事務局説明》

【司会】 これから進める地域協議会の流れと、協議会での議論の進め方について事務局より説明する。

【学校再編推進課長】 (地域協議の流れ及び協議会での議論の進め方について説明)

### 《議事進行》

【司会】 議事に入る前に、協議会の会長が決まるまでの間の議長を音川自治振興会の中山会長にお願いする。

【会長】 しばらくの間、仮議長を務める。議事についてはあらかじめ手元に配布した次第に従い進める。

《議題進行：第1号議案～第3号議案》

【会長】 はじめに、第1号議案「協議会会則（案）」、第2号議案「役員を選出」、第3号議案「予算（案）」について、一括して議題としたい。事務局より説明を求める。

【学校再編推進課長】 （第1号議案～第2号議案について説明）  
第2号議案について、事務局案（会長を音川自治振興会長の中山博昭氏、副会長を音川小PTA会長の小塚久雄氏、音川交流センター事業運営委員会会長の若松俊弘氏、監事を音川地区ふるさとづくり推進協議会会長の平野利彦氏とする）でよければ、拍手をもって承認に代えたい。

（拍手）

【学校再編推進課長】 （第3号議案について説明）

【会長】 第1号議案から第3号議案について、質問等はあるか。

【委員】 本協議会の委員は、その人にではなく、立場や役職により任命したのか。

【学校再編推進課長】 基本的には各団体を代表して参加していただいていると認識している。

【委員】 一度拍手により承認されたので、私は特に否定も肯定もしないが、以前、特に会長や副会長を決める際に、長く関われる方が良いのではないか、子どもがいる方を会長に据えればよいのではないかという意見が出ていた。今ほど、拍手により承認されていたが、今一度確認を取った上で役員を決めた方がよいのではないか。

【会長】 学校再編は他の校下との話合いもあり、先方は大体、自治振興会長が（代表を）する。対外的な部分は、皆さんの意見を土台にして（自治振興会長が）やっていくしかないと思う。

【委員】 それはそれでよい。私は、PTA、児童クラブなどの若い方がそれでいかどうかの確認をきちんとして、新しい会長、副会長、監事を頭にして協議会を進めていくというのがいいのではないかと思っている。あの場で意見を言えなかったらという話が後でまた出てくるのは嫌なので。

【委員】 実際は、会長や副会長といった者だけが独断で決めるわけでは当然なく、このメンバーで常に集まって協議して決めるのだから、問題ないのでは。

【会長】 若い人から今のことについて何か意見は。

【委員】 年長者の感覚では、音川全体の学校問題というのは極めて大きい問題で、

まだ結論が出たわけではないが、万が一、音川から小学校がなくなるといふことになれば、地域団体として本当に大変な問題だ。軽々に論ずる人はいないと思うが、性根を入れてやらないといけない。

【委員】 話がずれているので直したいが、自治振興会には任期はあるのか。

【委員】 2年間である。

【委員】 今は1年目か。

【委員】 2年目なので、この3月で任期は終わる。

【委員】 自治振興会の理事と会長、副会長等が2年で、一般の地区委員の任期は1年である。

【委員】 ふるさとづくり協議会は自治振興会の副会長を兼ねているので、私もこの3月で任期が終わる。理事には恐らく残るが。

【委員】 会長に伺うが、3月以後、会長として本協議会のメンバーに残っていただけなのか。始まったばかりで3月にすぐ交代というのでは、ちょっと言い方は悪いが、今（会長に）なっていていただく意味があまりないというか、であれば、ずっと残る人に会長をお願いしたほうがいいかと思う。

【会長】 本協議会が設立され、自治振興会長がそのメンバーに入るとなると、（自治振興会長が会長を務めるならば）トップが代わっては成り立たない。最低でももう1期（あと2年）は（自治振興会長を務めよう）と思っている。

【委員】 自治振興会長は、地域を統括する立場として本協議会の会長をするべきだと思う。委員の方も各団体の代表として参加されるわけなので、その中で議論をしっかりしていけばそれでよいし、会長は会長としてきちんと本協議会の方向性を決めていっていただければよいと思う。先ほど拍手したのはそういう意味である。各団体のトップには任期があるのでなかなか難しいが、最後まで責任を全うしていただきたい。

【委員】 他の地域との調整が一番難しいと思う。そこはやはり中山氏が適任と思う。

【委員】 各委員にはこういう会話の中でどんどん意見を出していく形で進めてほしい。

【会長】 会長は私が務めるとしても、委員の方が一生懸命にやっていただくことが一番大事ではないかと思っている。よろしいか。

(拍手)

【会長】 異議なしと認める。よって、議案第1号から第3号は原案どおり可決する。

(拍手)

【会長】 本協議会の会長にご指名いただいたので、一言ご挨拶申し上げます。

(会長 挨拶)

#### 《議事進行》

【会長】 音川小学校の状況等及び他協議会における活動等について、事務局から説明を求める。

【学校再編推進課長】 (音川小学校の状況等及び他協議会における活動等について説明)

#### 《質疑応答》

【会長】 ただ今の説明について、質問はあるか。

【委員】 統合について、PTAの皆様アンケートを取らせていただいたことがある。中にはやはり、通学に関する心配があった。統合した際、スクールバスなどの情報やアイデア、事例のようなものをいただけるのか。

【学校再編推進課長】 本市での過去の統合では、通学の距離が長くなる場合、その負担軽減を図るため、スクールバス及びコミュニティバスを活用した事例がある。そういった案や、参考になるような他都市等の事例などの資料がそろえられれば、提案・ご説明いたしたい。

【委員】 資料に記載の案としては3校統合案だけだが、(音川と古里の)2校を先に統合するといったことは可能か。

【学校再編推進課長】 実際は地域の方々や相手方との合意が必要だが、市が示したこの再編案2案はあくまでたたき台であり、決してこれに固執するわけではなく、地域の方々で話し合っ決めていただきたい。

令和8年4月に、水橋地区で小学校5校、中学校2校を合わせた義務教育学校水橋学園の新設を控えているが、その中の三郷小と上条小は、児童数が少ないということで先行して一次統合という形をとった例もある。必ずしも市のたたき台どおりでないといけないということではないとご理解いただきたい。

- 【委員】 複式学級は先生が大変だと言われたが、児童はどうか。
- 【学校再編推進課長】 例えば2年生で最初に複式学級になると、恐らく卒業するまでずっと複式学級と思われ、子どもたちはその状況しか知らないなので、あまり違和感を感じないと思う。
- ただ、いい悪いは別にして、通常は学年ごとに分かれて先生が1人で授業してみんな同じことをやっているの一体感はあるが、複式学級は同じクラスに2学年がいて先生も学年に応じて別々なことをやっているの、一体感はあまりないと感じる。学力については、複式学級であろうと小規模校であろうと、学校規模で差がつくことは決してない。デメリットについては、個人差もあろうと思う。
- 【委員】 学力差はそんなに出ないが、人数が少ないほど、いわゆる協力性といったことは多少心配されるということなのだろう。
- 【学校再編推進課長】 本市の事例ではなく実際に見てはいないが、複式学級や小規模校は人数が少ないので目が届きやすいというメリットは当然ある。しかし、複式学級の場合は、先生は聖徳太子ではないので、2学年同時に見ることは物理的に難しい。
- 【委員】 1学級の定員は40人か。
- 【学校再編推進課長】 現在は35人である。
- 【委員】 複式学級の場合（の人数）は2桁未満か。
- 【学校再編推進課長】 1年生は別だが、2学年で15人以下になった場合、複式学級になる。
- 【委員】 今後の活動内容について、見学会もいいとは思いますが、音川小は実際もう再来年に複式学級になる（見込み）ので、特に保護者の方々にはあまりのんびりしている時間はないと思う。浜黒崎の事例と見比べると、順番は違えど、音川でもアンケートをもうやっているし、説明会も行っている。その上で、ここにいろんな世代のいろんな団体の人がおられるわけなので、まず音川としてどうしたいのかというそれぞれの本心を一回ぶつけ合って、今後の活動内容を決めるほうがいいのではないかと思います。
- 【会長】 それはいい意見だ。
- 【委員】 子どものことを考えると、少人数というのはかわいそうな面もあるが、地域という見方をすると、私個人的な意見としては統合に賛成ではない。やはり学校あつての地域だと思う。1回や2回の話し合いでは当然（決断）

できるわけでもないし、ここに当局が来ているが、軽々に論じて結論を早めることはないと思う。

【委員】 慌てるのではなく、取りあえず1回話しをしませんかという話。

【委員】 次回の協議会で、皆様の忌憚のない意見を出してもらってから積み上げていくしかないと思う。

【会長】 意見も出尽くしたようなので、本日は終了とする。

本日回答が難しかったものについては、事務局のほうで次回以降回答されたい。

《閉会》

【司会】 第2回音川小学校のあり方協議会については、本日皆様からいただいたご意見等を踏まえ、日程や内容を調整し、改めて案内する。

以上をもって、第1回音川小学校のあり方協議会を終了する。

— 了 —